

ロタウイルス

☆ロタウイルスによる胃腸炎は乳幼児期にかかりやすい病気で、感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染します。

☆下痢や嘔吐（おうと）、発熱、腹痛などが主な症状で、脱水症状がひどくなると、点滴や入院が必要になることがあります。

☆ロタウイルスワクチンを接種することで、体のなかにロタウイルスへの抵抗力（免疫）ができます。

☆このワクチンは生後6週0日*から接種できます。（標準的には生後2か月から接種）腸重積症の好発年齢を避けるため、生後14週6日*までに1回目の接種をしましょう。

☆ロタウイルスワクチンは経口生ワクチンです。ワクチンの種類は2種類ありますが、同様の効果があります。同じワクチンで決められた回数を接種しましょう。

※生後6週0日…生まれてから6回目の同じ曜日。

生後14週6日…生まれてから15回目の同じ曜日の1日前。

■腸重積症とは

- 腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。
- 腸の血流が悪くなることで腸の組織障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要です。
- ワクチンの接種にかかわらず、生後3か月～2歳くらいのお子さんがかかりやすい病気です。
- 次のような様子が一つでも見られるときは、医療機関を受診しましょう。

- ☐ 突然はげしく泣く
- ☐ 嘔吐を繰り返す
- ☐ 便に血が混じる
- ☐ ぐったりして顔色が悪い
- ☐ 機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す

接種後1～2週間は「腸重積症」に注意が必要です。様子が気になったらすぐに受診しましょう。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

接種年齢

ロタリックス（1価）：生後6週0日～24週0日
ロタテック（5価）：生後6週0日～32週0日
（初回接種の標準的な接種年齢：生後2か月～生後14週6日）

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

持っていくものは？

母子健康手帳、ロタウイルス予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

回数と間隔は？

1回目

標準的な接種年齢：生後2か月～生後14週6日

↓ 27日以上あける

2回目

ロタリックス（1価）：生後24週0日まで（2回で終了）

↓ 27日以上あける

3回目

ロタテック（5価）：生後32週0日まで（3回で終了）

※ロタリックス（1価）は2回接種のため予診票が1枚余ります。

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- ロタウイルスワクチンを接種した後、下痢や嘔吐、胃腸炎、発熱などがみられることがあります。
- 接種後1～2週間は腸重積症に注意が必要です。
- きわめてまれにアナフィラキシー（急激なアレルギー反応）といった重い症状があらわれることがあります。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。